

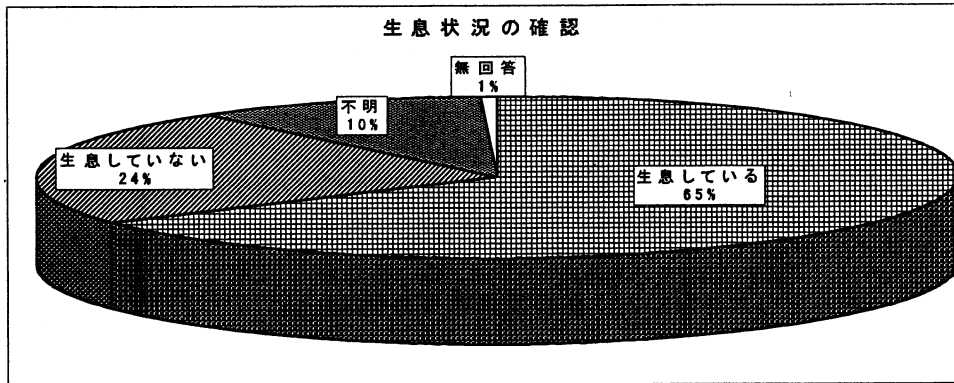
外来害魚（オオクチバス、コクチバス、ブルーギル）の生息分布・影響調査
結果概要（平成14年度）

1 生息が確認されている外来魚と生息状況

1. オオクチバス

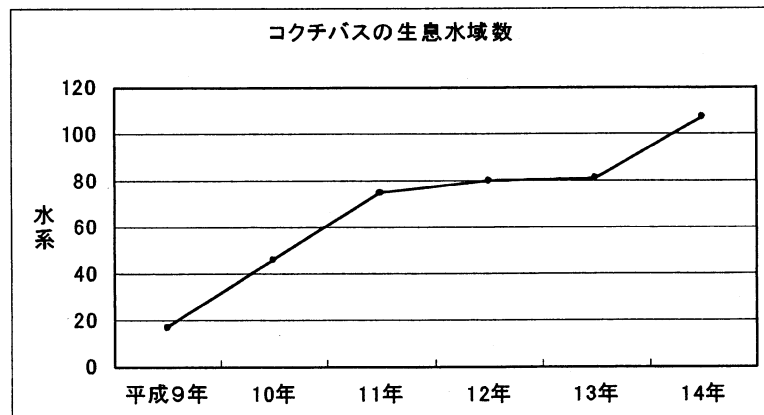
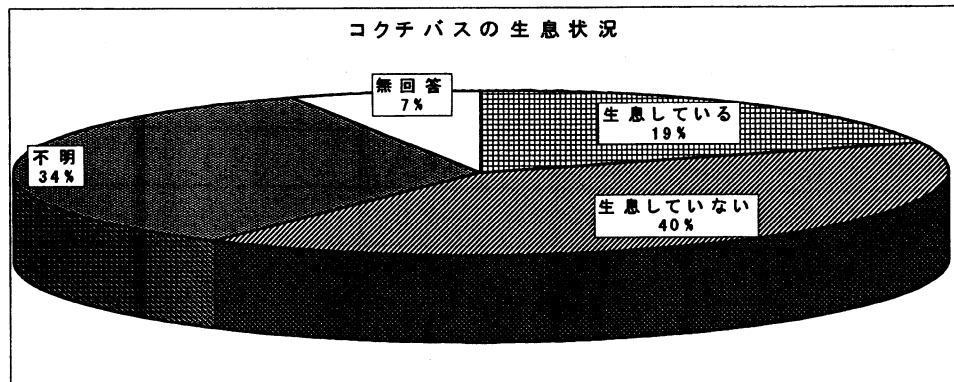
(1) 生息状況の確認

生息している	362	(うち河川	305	湖沼	57)
生息していない	130	("	121	"	9)
生息しているかどうか不明	56	("	47	"	9)
無回答	3	("	2	"	1)



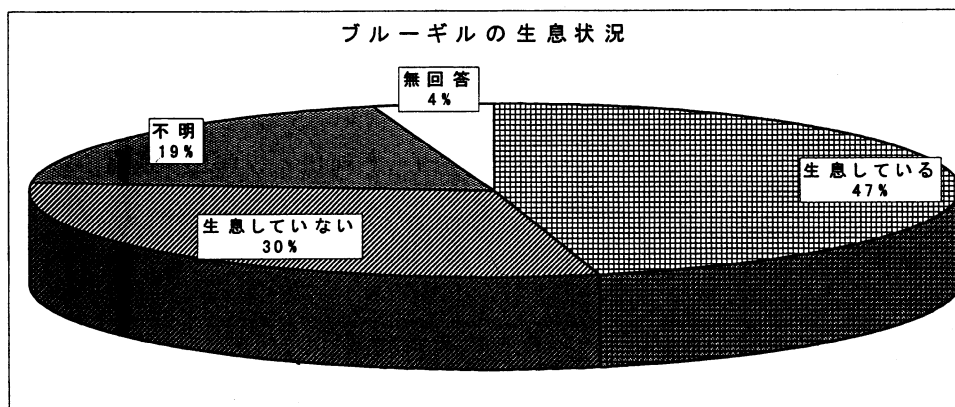
2. コクチバス

生息している	106	(うち河川	89	湖沼	17)
生息していない	200	("	195	"	25)
生息しているかどうか不明	173	("	157	"	27)
無回答	37	("	32	"	5)



3. ブルーギル

生息している	254 (うち河川	211	湖沼	43)
生息していない	166 ("	153	"	13)
生息しているかどうか不明	105 ("	91	"	14)
無回答	23 ("	18	"	5)



2 漁協の対応状況

漁協の対応状況は以下のとおりであるが、1つの漁協で2つ以上の対策を講じている場合が多く、回答数は重複回答を含んだものである。

また、「駆除ができないなら利用したい」との回答が22水域(19漁協)からあったが、その理由として多かったのは、「国や県による駆除が行われず、漁協自ら駆除するのは財政的に困難」、「外来魚を漁協が管理できるようにしないと、漁業権漁場でありながら外来魚の釣り人に対して何も言えずトラブルの元」などであった。

対応状況	河川	湖沼	合計
駆除している	124	19	143
釣り人や組合員からの買取り	27	5	32
監視の強化	121	20	141
生息や食害状況の調査	40	9	49
密放流防止の啓発に努めている	164	26	190
検討中	54	11	65
駆除ができないなら利用したい	16	6	22
講じていない	85	16	101
その他	30	9	39
無回答	12	3	15